

令和8年度 イエール大学プログラム

応募要領/カリキュラム概要

Contents

0. はじめに
1. 目的及び参加のメリット
2. 参加対象者
3. カリキュラム概要
4. 現地研修スケジュール（概要）
5. 受講料・問合せ先等
6. 応募方法・留意事項

0. はじめに

President Maurie McInnis イェール大学学長からのメッセージ

The PEAKS program continues a tradition of collaboration for Yale, and we are delighted to host it again this fall. This forum brings together Japanese university, government, and industry leaders with Yale experts to explore how entrepreneurship ecosystems can unleash innovation. We hope you will join us.

-President Maurie McInnis '96 PhD



上山 隆大 内閣府本府参与 からのメッセージ

我が国の研究大学の環境が大きく変化をしています。国際卓越研究大学とJ-PEAKSがともに動き始め、加えて、文科省と経産省がタッグを組んで、産業競争力に資する大学群の形成と新しい研究大学の在り方を模索しています。これらの大学群に求められるのは、従来の大学よりも多様で広範囲のステークホルダーとの関係を構築することでしょう。この研修では、イェール大学の協力を得て、大学のキャンパスそのものを地域に展開する試みや、大学研究者の研究シーズの社会実装に大学や企業が積極的に関与する姿勢を学びます。同時に、今年はボストン地域への視察を加え、新しい研究大学と産業との関係を考え直す機会としたいと考えています。



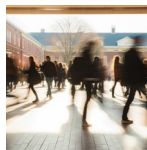
1. 目的及び参加のメリット

プログラムの目的

大学支援フォーラムPEAKS／内閣府では、我が国の科学技術・イノベーションに関わる政策動向の理解に加え、ディスカッションを中心とした研修を通じて、産業界・大学・政府関係者の更なる知見集積と、グローバルな人的ネットワークの構築と推進を図ることを目的として、イェール大学等と開発したオリジナルプログラムを実施します。



参加のメリット



大学経営改革、産学連携、イノベーション、スタートアップ創出等について学べる



米国の大学経営/産学連携のトップランナーから直接学べる



国内外の産学官との人的ネットワークが構築できる



米国での対面研修で参加者同士が密に議論できる

2. 参加対象者

参加者属性



大学

応募要件



将来の大学のマネジメントを担う強い意志のある幹部教職員、またはそれにふさわしい能力を有する者

- 現在、副学長、部局長、学長補佐、副理事、事務局長、またはこれらに準ずる役職(部長・課長など)に就いている方を主な対象とします。
- なお、教員・職員・URA・技術職員など、どの職種の方でもお申込みいただけます。



産業界

産学連携、研究開発、その他大学との事業共創等を担う人材、またはそれにふさわしい能力を有する者

- 産学連携部門・知財マネジメント部門、研究開発部門、新規事業開発部門等の執行役員・部長・課長、またはこれらに準ずる役職に就いている方を主な対象とします。



政府

大学政策・科学技術イノベーション政策の企画決定に携わる者

1つの組織から複数名の応募が可能です。応募者多数の場合は参加組織の多様性の担保を優先し選考することがある旨ご了承ください。応募にあたっては、上記要件を満たす者として、応募者所属組織による推薦が必要です。なお、人物像・課題意識・研修全日程（事前・現地・事後）への参加の可否・英語力を総合的に勘案し選考します。参加者は、プログラム修了後に所属組織での研修等の開催や組織改革への取組など、本プログラムで得た知識等を所属組織に還元・活用いただくことを了承いただいた上でご応募ください。

3. カリキュラム概要

内容



※ ②③④の全日程に参加できる者を優先的に選考します

時期・場所など



- 1

自己学習

▼

事務局が用意する資料等を用い、研修に関わる基礎知識を習得する
- 2

国内事前研修

▼

大学経営関連テーマや産学連携への理解を深め、現地研修での議論の準備をし、参加者同士のネットワーキングを図る
- 3

現地研修

▼

イェール大学等の経営層や産学連携を牽引する関係者との議論及び視察を通じて、大学経営及び産学連携の先進的な実践を学ぶとともに、現地関係者とのネットワーキングを図る

なお、参加者は各プログラムに関連し、日本国内の事例に加え、所属組織における取組や自らの経験・課題感に基づく事例について必ず共有する
- 4

国内事後研修

▼

現地研修を踏まえ、参加者が所属組織で今後取り組む内容を共有・議論する
- 組織改革の取組

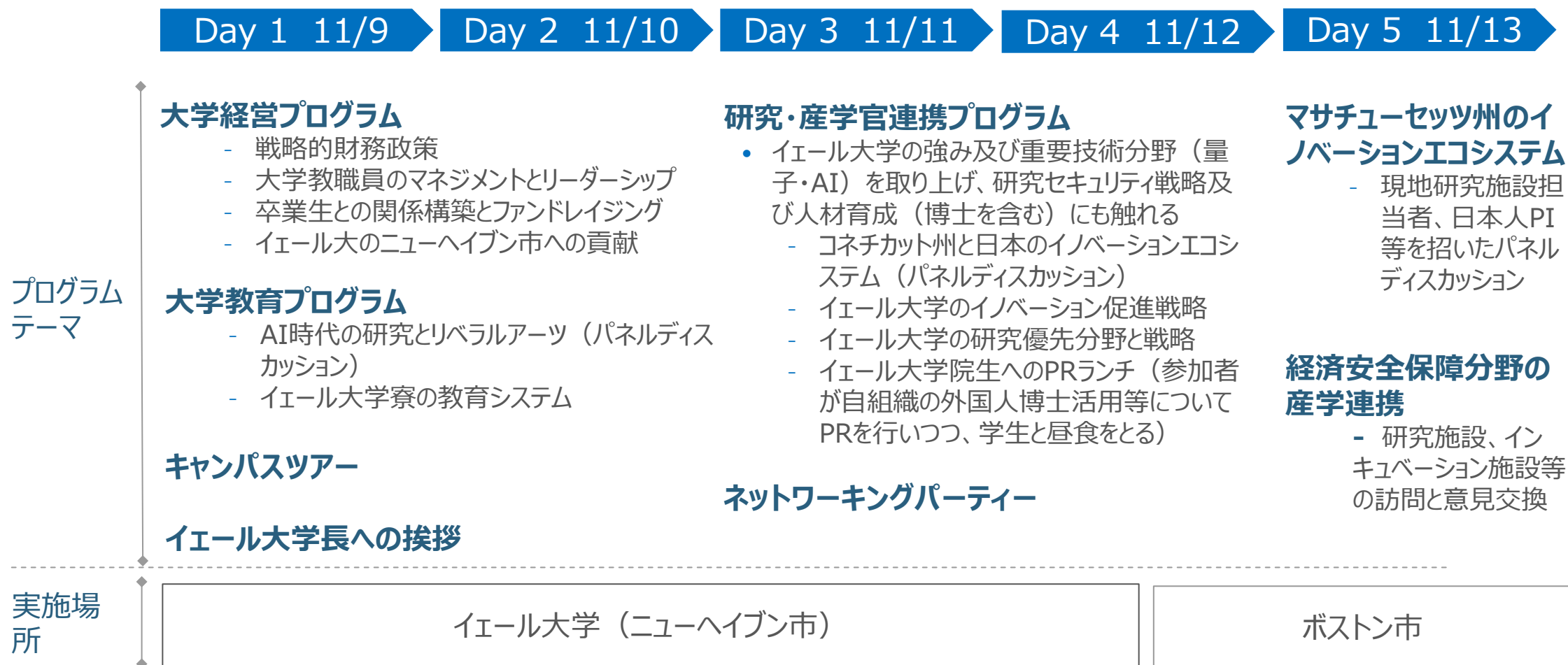
▼

研修で構築したネットワークを継続しながら、④で各自が立案した内容を実行する

- 受講者決定後～10月末
 ※ 詳細は受講者決定後にご連絡します
- 10月31日(土) 午後2時～6時(予定)
 • 東京(対面)
- 11月9日(月)朝～11月13日(金)夜
 ※ 日本発着の場合のモデル日程：

11月8日(日)	日本発
11月9日(月)～13日(金)	現地研修
11月14日(土)	米国発
11月15日(日)	日本着
- 米国・イェール大学及びボストン市にて実施
 ※ 全てのプログラムを英語で実施（同時通訳なし）
- 12月12日(土) 午後1時～4時(予定)
 • 東京(対面)
- 実行の様子をフォローアップする可能性があります
 • 本研修のアラムナイとして、令和9年度以降の研修実施への協力をお願いする可能性があります

4. 現地研修スケジュール（概要）



※ 研修スケジュールは調整中のため、研修内容や日程が変更する可能性があります。

5. 受講料・問合せ先等

受講料



研修費用：約36万円（R7実績）

- 研修中の移動交通費
（ホテル⇄イェール大学等） /
日～金の宿泊費等（一部の昼食・夕食費）込み



現地までの旅費：約30～40万円

- 航空券、11/8（日）宿泊先ホテルまで及び11/14（土）出国空港までの交通手段は各自手配いただきます。

※費用は為替相場等の影響で増減する可能性があります

問合せ先等



本プログラムのお申込みに関するお問合せ先

- 大学支援フォーラムPEAKS事務局
（ボストン・コンサルティング・グループ ※内閣府から事業を受託）
担当：申
メールアドレス：Peaks@bcg.com

（ご参考）

○大学支援フォーラムPEAKS ウェブページ

<https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/>

○本プログラムの紹介ウェブページ (PEAKSウェブページ内)

- <https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/kenshu.html>

6. 応募方法・留意事項

応募方法



本プログラムへの参加を希望される方は、
以下URLまたはQRコードから
必要項目を入力し、送信してください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/gvfF91FxGL>



＜＜お申込み締切＞＞

一次募集 締切：令和8年8月28日（金）12:00 まで

二次募集 締切：令和8年9月4日（金）12:00 まで

＜＜結果通知＞＞

9月14日（月）の週に通知予定

参加希望の方は、所属組織から業務・庶務調整等の協力が得られるように各所調整の上お申込みください。また、プログラム参加における安全管理に関しては、事務局の指示に従っていただきます旨ご了承ください。

留意事項



- **25名程度**を定員とします。
- 一次募集で選考人数が定員未達の場合のみ二次募集を行います。二次募集実施の有無はPEAKSのHPで公開します。
- 参加者については、申込書類をもとに厳正な選考を実施したのち、最終決定します。
- PEAKS構成員組織所属でなくても応募できますが、PEAKS構成員組織所属の方は選考時に考慮します。また、「戦略17分野（※）」に関するご経験等も選考時に考慮します。
また、国内事前研修・現地研修（全行程）・国内事後研修の全日程に参加できる方を優先し選考します。
- 選考プロセスは非公開であり、選考内容については回答することができません。ご了承ください。